

## 平成17年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

### （1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

### （2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

### （3）調査の要領

#### ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

#### イ 調査の期間

平成17年1月1日から平成17年12月31日まで1年間

#### ウ 調査事項

##### （ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊

##### （イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

##### （ウ）利用交通機関別の入込客数

##### （エ）消費金額

### （4）調査結果

#### ア 観光客入込の動向

平成17年1月1日から平成17年12月31日までの入込客数は、1億905万人と推計され、前年の1億704万人と比べて、201万人増加し、率では1.9%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より26万人増加し、9年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、81万人減少した。3位の遊園地客は前年より34万人減少した。なお、ハイキング及び登山客、花見客及び紅葉狩り客、釣り客、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、産業観光客は前年に比べて増加となった。

#### イ 県内・県外別の状況

県内客7,244万人（構成比66.4%）、県外客2,071万人（構成比19.0%）、不明1,590万人（構成比14.6%）であった。

#### ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 9, 107 万人（構成比 83.5%）、宿泊客 208 万人（構成比 1.9%）、不明 1, 590 万人（構成比 14.6%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 5, 193 万人、次いで鉄道 1, 780 万人、不明 1, 724 万人、その他 1, 367 万人、バス 841 万人の順であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2, 718 万人（構成比 24.9%）、スポーツ客 2, 244 万人（構成比 20.6%）、遊園地客 1, 424 万人（構成比 13.0%）、産業観光客 1, 360 万人（構成比 12.5%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 1, 105 万人（構成比 10.1%）、花見客及び紅葉狩り客 644 万人（構成比 5.9%）、ハイキング及び登山客 368 万人（構成比 3.4%）、釣り客 96 万人（構成比 0.9%）、その他 946 万人（構成比 8.7%）となった。

遊園地客及びスポーツ客を除いては、前年に比べていずれも増加となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1, 140 億円（68市町村）である。1人当たりの消費金額は 1, 601 円で、前年に比べ 139 円、8.0%の減となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8月、7月、10月、11月の順に多い。また、消費金額については 10月、8月、5月、4月の順に多い。